

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 学校法人 川崎学園		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒701-0192 岡山県倉敷市松島577	
本票作成	部署名：学校法人川崎学園 大学事務局施設部				
主たる業種	分類コード	81	業種名：学校教育		
事業の概要	川崎医科大学、川崎医科大学附属病院、川崎医科大学総合医療センター、川崎医科大学附属川崎病院、川崎医療福祉大学、川崎医療短期大学、川崎医科大学附属高等学校、かわさきこども園を有する学校法人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	川崎学園（総合医療センター・附属高校・かわさきこども園を除く）		岡山県倉敷市松島577	
	②	川崎医科大学総合医療センター		岡山県岡山市北区中山下2-6-1	
	③	川崎医科大学附属川崎病院		岡山県岡山市北区中山下2-1-80	
	④	川崎医科大学附属高等学校		岡山県倉敷市生坂1661	
	⑤	かわさきこども園		岡山県倉敷市二子177-7	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 5 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 28 年度)	(令和 1 )年度排出量	目標年度(令和 1 年度)
	39,759 t CO <sub>2</sub>	38,094 t CO <sub>2</sub>	38,566 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 1 )年度排出量
	①	川崎学園（総合医療センター・附属高校・かわさきこども園を除く）	31,333 t CO <sub>2</sub>
	②	川崎医科大学総合医療センター	6,313 t CO <sub>2</sub>
	③	川崎医科大学附属川崎病院	0 t CO <sub>2</sub>
	④	川崎医科大学附属高等学校	395 t CO <sub>2</sub>
	⑤	かわさきこども園	53 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 29 年度 ～ 令和 1 年度 ( 3 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 1 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	7.0 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 延床面積 389.0 千㎡	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 1 )年度	目標年度
		105.3 t CO <sub>2</sub> /(千㎡)	97.9 t CO <sub>2</sub> /(千㎡)	102.2 t CO <sub>2</sub> /(千㎡)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 1 年度)	達成率等
	大学	0.555 以下	0.8412	66.0%

【削減状況の自己評価】

・省エネ活動の実施等によりエネルギー使用量が部分的に減少している施設もあるが、2019年9月に短期大学敷地内に新学生寮が竣工した分エネルギー使用量は純増しました(旧学生寮は取り壊し完了)。本格的な稼働に合わせて機器の稼働時間や運転温度の適正化に努め川崎学園エネルギー管理標準を順守し、日々の省エネ活動及び各種温暖化防止対策を全員参加で着実に実施していくことが重要である。

・今後も、追加の削減策を検討・実施していくことが重要である。

・管理標準を遵守・継続実施していくことが重要である。

**【推進体制】**

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理及び地球温暖化対策推進を実施するために「地球温暖化対策推進委員会」を設置している（年2回開催）。
- ・前記「地球温暖化対策推進委員会」を受けて、各施設では個別に省エネ及び温室効果ガス排出削減活動を計画・実施している。
- ・各施設にエネルギー管理講習修了者を省エネアドバイザーとして配置し、きめ細かい対応(省エネに関する問い合わせ、省エネ実施等)を可能とする体制を整備している。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(H31年度実施分) 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎医療福祉大学 川崎医療福祉大学 附属高等学校 テナント	(H31年度実施分) ・避難誘導灯器具を高効率LED器具に更新（計10台/年） ・西館棟天井蛍光灯（直管40形）を順次LEDに更新（計579本、CO2削減量5t/年） ・西館棟病室枕元灯（直管40形）を順次LEDに更新（計9本） ・自動販売機を省エネ型に更新（計13台） ・照明の高効率管・球の導入（直管40形LED以外）（計43本/年） ・給排気ファンの運転時間短縮、温度発停タイマー取付（計2台/年） ・二子レジデンスB棟及びびすずかけ寮エレベータ使用停止（計2台）（CO2削減量0.2t/年） ・実験用冷蔵庫及び冷凍庫を高効率タイプへ更新（計7台） ・医学教育博物館の照明器具・管をLEDへ更新（計1369本）（消費電力量63%削減/年） ・教室天井蛍光灯ほかを順次LEDに更新（計931本消費電力量68%削減/年） ・避難誘導灯を高効率LED機器に更新（計28台） ・講義室ほか天井蛍光灯ほかを順次LEDに更新（計931本/年） ・教室天井蛍光灯ほかを順次LEDに更新（計83本） ・コピー機（計4台）、厨房機器（計5台）、小型冷蔵庫（計205台）省エネタイプへ更新完了
(今後実施予定分) 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎学園 川崎医療福祉大学 附属高等学校	(今後実施予定分) ・西館棟天井蛍光灯（直管40形）を順次LEDに更新する（CO2削減量3t/年） ・校舎館、北館棟、救急棟、本館A・B棟天井蛍光灯（直管40形）を順次LEDに更新する（CO2削減量10t/年） ・照明器具の高効率管・球をLED機器へ順次更新する（除く直管40形、誘導灯） ・給排気ファンの運転時間短縮、温度発停タイマー取付（CO2削減量0.2t/年） ・自動販売機を省エネ型へ順次更新する ・実験用冷蔵庫及び冷凍庫を高効率タイプへ順次更新 ・講義棟ほか天井蛍光灯を順次LEDに更新（計500本/年） ・教室天井蛍光灯ほかを順次LEDに更新（計60本/年）

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	太陽光発電設備設置済み（H25年度・川崎医療短期大学）6kW 太陽光発電設備設置済（H29年度・かわさきこども園）20kW
その他	無	

**【その他特記事項】**

- その他の取組
- (1) 空調設定温度の厳守、照明点灯・空調運転時間の短縮とスケジュール制御時間の見直し
  - (2) 各施設での省エネパトロールの実施、学生も参加させ女性目線でのきめ細かな指摘と改善
  - (3) 学園広報誌及び学園HPへの啓蒙記事・省エネ実施事例の掲載により省エネ意識を高める
  - (4) 新入生への省エネ教育の実施
  - (5) 大学・寮の長期休暇中、エレベータの間引き運転の実施及び自動販売機の休止、照明消灯
  - (6) パソコン・OA機器の省エネモード設定と退社時電源OFF
  - (7) 照明ゾーニング・人感センサー等の取り付け工事による不要点灯の削減
  - (8) アースキープメンバー及びライトダウンキャンペーンに参加